

T.M.P. NEWS

VOL.52 2019.7

T.M.P.

小暑を過ぎ、夏本番を迎えました。皆様におかれましては益々御清祥の事とお慶び申し上げます。また平素より格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

私事で甚だ恐縮ですが、2020年東京オリンピックのチケットが幸運にも当選しました。総額220万円分エントリーした末、8月2日男子ゴルフ決勝ラウンドの当選でした。早速家族に報告したところ、真夏のゴルフ観戦に大ブーイングで散々の評価でした。

それでも、一生に一度あるかないかの事ですので、気を取り直し、早速コース近くのホテルに宿泊予約をしたところ、既に、大会関係者の宿泊予約で埋まっているとの事でした。会場となる霞ヶ関カンツリー倶楽部は埼玉県川越市に位置しており、そもそも宿泊施設の乏しい地域ですので、今度は私の都内の定宿に連絡をしましたが、10月以降にしないとオリンピック期間の客室の販売はできないとのつれない返事が返ってきました。噂にたがわず宿の確保は厳しそうです。

ところで、先日テレビを見ていた所、400メートルリレーは日本が金メダルの最有力候補との事でした。短距離で日本人が活躍するなど、我々の若い頃では考えられない事です。陸上に限らず、卓球、バトミントン、サッカーなど、日本の若者は世界で大活躍しています。振り返りますと、医療機器業界においても同様で、少しずつ産業としての認知度が上がってきた事で、最近では優秀な若手社員が入社するようになってきました。これは大学で医療機器を研究する教室が増えてきていることが大きな要因だと思います。

スポーツ界同様、我々の業界でも才能ある若物が活躍することで、欧米企業に負けない革新的な医療機器が日本でも生まれてくると思います。そして、当社を彼らの活躍の舞台にすべく成長させたいと思います。又東京の次に日本でオリンピックが開催される頃には日本が世界の医療機器開発の中心になっている事を祈りたいと思います。

株式会社 東海メディカルプロダクツ

代表取締役社長 筒井康弘



トピックス

名古屋大学 客員教授 辞令交付

4月24日、筒井会長が名古屋大学総長室にて客員教授の辞令交付を受けました。

2012年に名古屋大学が優秀な学生を産学官にわたり、グローバルに活躍するリーダーへと導くために始めた「博士課程教育リーディングプログラム」で講師に就任し、2015年に客員教授となりました。今年度も引き続き客員教授をお願いされることとなり、辞令を交付いただきました。

この「博士課程教育リーディングプログラム」は2018年度末で補助期間は終了しましたが、筒井会長の呼びかけによって、2019年度以降も外部からの寄付金を募りつつ、継続していくことが決まり、筒井会長自らも寄付いたしました。世界をリードする人材の輩出を通して世界に貢献し、社会の期待に応えていくために今後多くの方にプログラムの趣旨を賛同いただけるようにPRしてまいります。



メディカルメッセ in 第30回日本医学会総会 2019中部



4月27日～29日、名古屋国際会議場イベントホールにて「メディカルメッセ in 第30回日本医学会総会 2019中部」が開催されました。筒井会長が幹事長を務めている名古屋商工会議所メディカルデバイス産業振興協議会主催で、2015年に東海地域初で開催した医療機器専門展示会の第5回目です。



今回は「第30回日本医学会総会2019中部」と同時開催となりました。日本医学会総会は120年の歴史を有し、129の分科会を擁する日本医学会が、日本医師会、日本医学会連合と協力して4年に一度開催する我が国最大の学会であり、メディカルメッセ会場にも医師をはじめとする医療関係者が多く訪れ、3日間で2,518人の方が来場されました。

次の第6回メディカルメッセは、来年2020年5月に名古屋で開催される「第30回日本臨床工学会」と同時開催の予定です。

イノベーションセンター「ミライ」開設セレモニー

2019年4月15日、前年10月より稼働している当社研究拠点 イノベーションセンター「ミライ」の開設セレモニーを執り行いました。イノベーションセンター「ミライ」は、経済産業省(経済産業大臣 世耕弘成様)に地域経済の核として期待される「地域未来牽引企業」に2017年12月に選定いただいた事を記念して開設いたしました。本施設名「ミライ」は、患者様の命を第一に、医療従事者のパートナーであり続けること、そしてイノベーションを起こすことで患者様の暮らしや医療を「未来」に向けてより良くしていくという決意を込めて建設し、命名しました。

開設セレモニーでは、前半をイノベーションセンター「ミライ」の施設見学、後半を開設における当社の思いをVTR形式でご覧いただき、経済産業省 地域経済産業審議官 松永様、愛知県 大村知事、名古屋大学 松尾総長をはじめ、多くのご来賓のご祝辞を賜りました。社員も知らなかった筒井会長及び当社との過去の繋がりなど貴重なお話が聞け、改めて当社は多くの方に支えられてこれまで歩んできたことを実感しました。また懇親会も開催させていただき、官公庁関係者、医療機関関係者、取引先合わせて約240名にご列席いただき、皆様から当社への期待と激励を改めて耳にすることができ、社員一同励みになりました。(荒井 記)



経済産業省
松永明審議官



愛知県
森岡仙太副知事



春日井市
伊藤太市長



昭和大学病院
富田英先生



愛知医科大学
宮地茂先生



愛知県
大村秀章知事



経済産業省
松永明審議官



名古屋大学
松尾清一総長



中部経済産業局
高橋淳局長



新製品紹介

“Embolic Protection Device”
&
“Large Lumen”

Balloon Guide Catheter
OPTIMO[®]EPD[®]

「中心循環系塞栓捕捉用カテーテル」として新たに承認を取得した OPTIMO[®]
フローコントロールデバイスである従来品の使用目的に加え、
脳血管の遠位塞栓を防止するための末梢塞栓防止デバイスとしてご使用いただけます。
またカテーテル内径を拡大して、最大限の内腔を確保しました。

カタログ番号	シース適合	カテーテル有効長	最大バルーン径	バルーン長	カテーテル内径	JANコード
BG65800	6Fr	100cm	10mm	10mm	0.058"	4562382436960
BG77190	7Fr	90cm	12mm	12mm	0.071"	4562382436977
BG88590	8Fr	90cm	12mm	12mm	0.085"	4562382436991
BG99390	9Fr	90cm	12mm	12mm	0.093"	4562382437028

販売名：TMP オクリュージョン

医療機器承認番号：22900BZX00403000

一般的名称：中心循環系塞栓捕捉用カテーテル / 中心循環系閉塞術用血管内カテーテル

学会参加・出展報告

第48回日本IVR学会総会

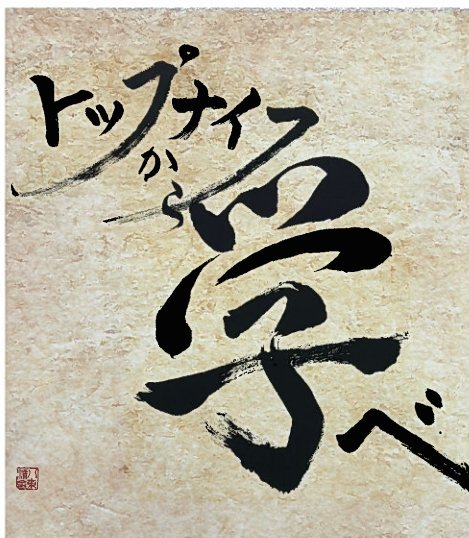
5月30日～6月1日の3日間、福岡国際会議場にて第48回日本IVR学会総会が開催されました。

当社は5月30日にランチョンセミナーを実施し、「『”はじめる”から始めよう』の為の頭頸部IVRのtips」という内容で座長と演者兼任で大分大学医学部附属病院の清末一路先生、演者として大分大学医学部附属病院の井手里美先生、札幌山の上病院の吉田大介先生に頭頸部IVRの基本部分からCarnelian Marvel® 1.3Frを使用したAV Shunt症例、Carnelian® PIXIEを使用した頭頸部動注症例を実際に使用した症例をご講演いただきました。



セミナーには多くの先生方にお集まりいただき、大盛況のうちに終了致しました。また展示会場にも全国よりたくさんの方にお立ち寄りいただき、当社製品の紹介を通じて製品理解を深めていただいたと感じております。今後も国産企業として小回りの利く部分を活かして先生方のご要望にお応えし、患者様のお役に立てる製品開発に努めていかなければならないと改めて強く感じる機会をいただきました。今後ともご指導、ご鞭撻を何卒宜しくお願い致します。(山元 記)

第33回日本外傷学会・学術集会



6月6日～7日、第33回日本外傷学会・学術集会(テーマ「トッパナイフから学ぶ」)が青森県八戸市の八戸市公会堂『劇的空間』で開催されました。

当社展示ブースでは大動脈遮断で使用する7Fr Rescue Balloon®-ERを展示させていただき、また今回は血管模型を設置してブースでハンズオンを行える新しい試みを実施されました。

本学会ではディスカッションや演題にも当社の7Fr Rescue Balloon®-ERが多く取り上げられており、REBOAの必要性や重要性等を話されておりました。私どもの活動が多くの方々に必要とされている事を改めて実感する機会となりました。

当社展示ブースには多くの先生方にお立ち寄りいただき、製品についての説明をさせていただきましたし、また、多くの質問もいただくなど、盛況のうちに終わることができました。

これからも当社の創業の精神「一人でも多くの生命を救いたい」を胸に、血管内治療に携わる国産の医療機器メーカーとして、少しでも先生方のお力になれる活動を続けていきたいと考えております。(杉村 記)



TOYOHASHI Live2019

6月20日～6月22日、ロワジールホテル豊橋にてTOYOHASHI Live2019が開催されました。当社は22日にランチョンセミナーを開催し、座長・演者に豊橋ハートセンター 越田亮司先生、演者に済生会横浜市東部病院 伊藤良明先生、戸田中央総合病院 小堀裕一先生をお迎えしました。セミナー名は「Concepts & Benefits of “ReACT” for PCI- A brand new low profile micro catheter for complex procedure -」とし、三名の先生方に当社新製品である「Prominent®ReACT/プロマネント®リアクト」の製品コンセプトを臨床使用経験と交えながらご講演いただきました。当セミナーには、多くの先生方に参加いただきまして大盛況にて終了いたしました。

また「ライブデモンストレーションEVTコース」にて「Prominent®/プロマネント®」シリーズをご使用いただき、現在の当社製品がEVTの治療に欠かせない製品であることを再認識することができました。今後も多様化していく治療の中で、現在の製品に満足することなく、国産企業として先生方の要望にお応えし、臨床現場への情報提供を行うと共に、一人でも多くの患者様の安全・予後の改善に結びつくよう製品開発に努めて参りたいと思います。

最後になりましたが、座長の越田亮司先生、演者の伊藤良明先生、小堀裕一先生、当社ランチョンセミナーに來訪いただきました先生方にこの場を借りて御礼申し上げます。(白井 記)

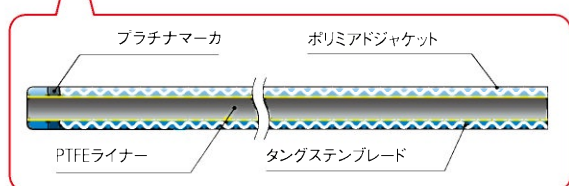
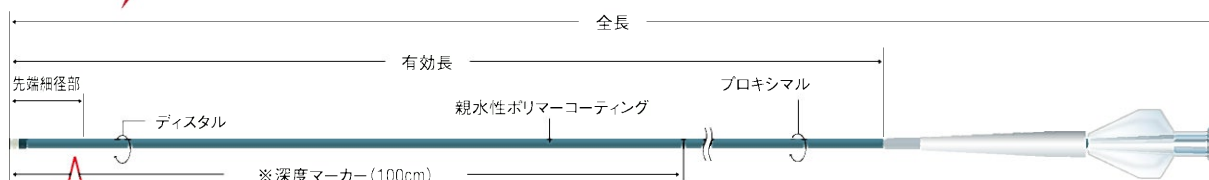


新製品紹介



～スムーズな操作性と通過性でプロマネントの新たな扉を開く～

- ・コロナリー領域に特化
- ・1st ChoiceからRe-Actionが必要な症例まで対応できるマイクロカテーテル
- ・先端細径部10cmは1.6Fr外径サイズ
- ・視認性を確保しつつ末梢部への追随性を高める



販売名：TMP マイクロカテーテルⅡ
承認番号：22700BZX00022000
保険請求分類：マイクロカテ OSB

製品番号	有効長	ディスタル部 外径/内径	プロキシマル部 外径/内径	先端細径部長	適合最大 ガイドワイヤ径	JAN コード
MCPR135	135cm	1.6Fr/ 0.0155inch	2.6Fr/ 0.021inch	10cm	0.014inch	4562382436748
MCPR150	150cm					4562382436755

中国 CCI

4月18日～21日まで中国南京で開催されたCCIにブースを出展致しました。インターベンションの先生方が1万人以上いらっしゃるというお国柄か国際学会並みの大規模な会場で開催され、非常に多くの先生方が参加されていました。

マイクロカテーテル関連では、グローバルメーカーの参入のみならず、中国独自のメーカーも複数ブースを出展しておりました。その中にはマイクロカテーテル、ガイドワイヤ、周辺アクセサリだけでなく、中国で開発され承認取得したEthiodized Poppyseed Oilや塞栓物質を取り扱っている会社も見られ、中国企業の開発スピードの速さや展開の幅広さに驚くばかりでした。

中国でも選択的なTACEが徐々に広まりつつあり、ありがたいことに当社カテーテルをご評価下さる先生方が徐々に増えてきており、それに伴い取り扱いを希望する代理店も増えてまいりました。大きな国ゆえビジネスの進め方が他国とは異なる部分も多く、手探りの状況が続いていますが、中国においてもCarnelian™ Micro Catheterを認知していただけるよう活動を進めてまいりたいと思っております。(青山 記)



永年勤続セレモニー

4月2日に永年勤続セレモニーを執り行いました。セレモニーでは、三輪さんの入社から現在に至るまでの経歴や実績などが紹介され、記念品が贈呈されると共に、活躍をよく知る上司よりねぎらいの言葉が送られました。今後ますますの活躍を期待しております。(鈴木 記)

・正社員 勤続25年 品質保証部 三輪 恭子さん



中部医療機器工業協会 表彰

5月16日に開催された中部医療機器工業協会の総会において永年勤続優良社員表彰式が執り行われ、表彰されました。今回の表彰を励みとして、中部地区の医療機器製造業の更なる発展に向け、職務に邁進していただければと思います。(寺澤 記)

・愛知県知事表彰(勤続20年) 本社製造部 小島 英美さん
 ・協会会長表彰(勤続15年) 総務部 山下 浩壽さん
 本社製造部 西岡 みどりさん



～今後の学会出展予定(7-9月)～

- 7月11日～14日 CSIR-中国介入放射学会【中国・上海】
出展物(予定): Carnelian™
- 7月11日～13日 TOkyo Percutaneous cardiovascular Intervention Conference: TOPIC2019【セルリアンタワー東急ホテル】
出展物(予定): Prominent®シリーズ、OPTIMO® PPI、Volant®
- 9月7日～11日 CIRSE【Barcelona, Spain】
出展物(予定): Carnelian™
- 9月19日～21日 第28回日本心血管インターベンション治療学会: CVIT 2019 学術集会【名古屋国際会議場】
出展物(予定): Prominent®シリーズ、OPTIMO® PPI、Volant®

コラム

中部経済新聞

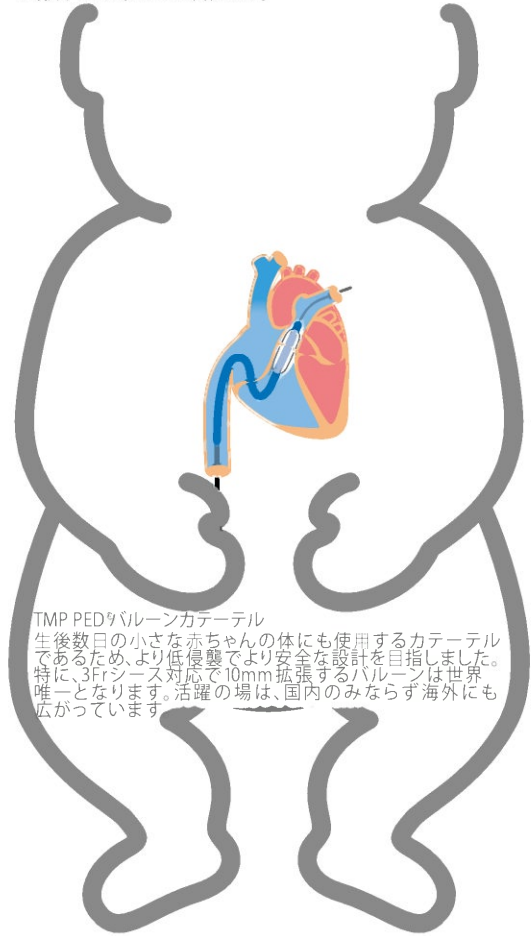
2018年(平成30年)12月24日 月曜日

中部経済新聞の毎週月曜の一面「時事雑感」の第四回記事です。ご一読いただければ幸いです。
筒井宣政

※新聞記事に関連した図

小児用弁拡張バルーンカテーテル

乳幼児、小児の生まれながらに狭窄している肺動脈弁、大動脈弁に対して、バルーンを用いて弁を拡張させるために使用するカテーテルです。開きの悪い弁は血液の供給が十分にできないため、狭い弁にバルーンを膨らませて拡げることで、血流を確保します。



TMP PEDバルーンカテーテルは、乳幼児、小児の生まれながらに狭窄している肺動脈弁、大動脈弁に対して、バルーンを用いて弁を拡張させるために使用するカテーテルです。開きの悪い弁は血液の供給が十分にできないため、狭い弁にバルーンを膨らませて拡げることで、血流を確保します。

時事雑感

私共の製品は、サイズは豊富ですが大人用がほとんどで、私が国産初で開発した心筋梗塞の救急救命で使用するIABPバルーンカテーテルの小児用「めだか」があるくらいでした。

2010年に小児循環器の第一人者である昭和大学病院の富田英先生に私共のカテーテルが何か役立てないか尋ねると、透析患者の痛んだ血



東海メディカルプロダクツ会長 筒井 宣政

んの肺動脈弁狭窄症を治すカテーテルでした。心臓から肺へ逆流を防ぐための弁が何らかの理由で狭まってしまうのが肺動脈弁狭窄(さく)症です。昨今の医療技術の発達で心臓を開くことなく、バルーンが付いたカテーテルを太ももから血管の中に挿入し、弁までバルーンを持っていく方法で治療できるようになりました。

小児用カテーテルを世界に

人に比べ細く繊細なので大変難しい取り組みでした。しかし一人でも多くの生命を救いたいという会社の基本理念の下、社員一丸となって安全性に徹底的にこだわって、富田先生に御指導をいただきながら2年かけて完成させました。医療機器は厚生労働省の許可が必要のため、さらに3年の期間を要し、合計5年か

管を修復するカフ型のPTAバルーンカテーテルが小児の先天性疾患の屈曲病変に使えるとアドバイスをいただき、早速小児用として販売を開始しました。その富田先生から「海外製1社しかなくて改良がされず、私が望む機能をもったものがないので作ってくれないか」と依頼されたのが赤ちゃん

た。そんな危険も少ない便利なカテーテルをなぜ各メーカーが開発に二の足を踏んだのかと言えば、小児用・先天性の治療はマーケティングが小さく、採算が取れない分野だったからです。こうした状況下で開発をスタートしたので、赤ちゃんの血管は大

けて小児用として世界一細いカテーテルを開発しました。この小児用カテーテルは年間約170例しか使われません。170人の赤ちゃんの命を救うために貢献出来たことには満足していますが、企業の投資回収という面では赤字となり、頭を抱えています。そこで私は日本だけでなく世界で売れることを決断しました。世界にまともな数量が出れば、利益はなくても安定供給が可能だからです。

私共だけでなく、富田先生がアジア各国の小児循環器関連の学会に赴き、学会発表やカテーテル治療を現地で行うなど尽力していただきました。その他多くの先生方にも協力いただいた結果、現在はベトナム、フィリピン、タイ、イランへ輸出して、何とか安定供給できています。一人でも多くの全世界の赤ちゃんを救えたいと思っています。

※中部経済新聞「時事雑感」第5回執筆陣

- ・豊田通商 加留部会長
- ・東海旅客鉄道・柘植会長
- ・三重銀行・種橋会長
- ・中部経済産業局・富吉局長
- ・中部国際空港・友添社長
- ・岐阜市・柴橋市長
- ・東海メディカルプロダクツ・筒井会長



株式会社
東海メディカルプロダクツ

T.M.P.NEWS VOL.52 2019年7月1日発行 編集発行人:筒井 康弘

〒486-0808 愛知県春日井市田楽町字更屋敷1485番地

【TEL】0568-81-7954 【FAX】81-7785

【E-mail】info@tokaimedpro.co.jp 【HP】http://www.tokaimedpro.co.jp